アルツハイマー病のクスリ創

~病気の理解と病態モデル~

アルツハイマー病治療薬開発に向けた臨床・研究現場の 最先端をご紹介します

日時

平成29年9月9日(土)

午後1時10分~3時10分

仙台国際センター会議棟2階大ホール(A会場)

仙台市営地下鉄東西線国際センター駅下車徒歩1分

参加申込不要(定員1,500名)



「アルツハイマー病:最新の理解と病態修飾薬の開発状況」

東海林 幹夫 先生(弘前大学大学院医学研究科・教授)



「アルツハイマー病モデルマウスの創出と応用」

斉藤 貴志 先生 (理化学研究所脳科学総合研究センター・副チームリーダー)



「ヒト神経細胞を用いた病態モデルづくり」

白尾 智明 先生 (群馬大学大学院医学系研究科・教授)

主催:群馬大学 白尾智明(AMED 再生医療実用化研究事業「創薬のためのインビトロ 脳機能評価法の確立と標準化ヒト神経細胞の開発」班)

後援:





国立研究開発法人日本医療研究開発機構 戦略推進部再生医療研 究課/創薬戦略部医薬品等規制科学課

NPO バイオフォーラム

日本語講演ですのでお気軽にご参加ください。



群馬大学大学院医学系研究科神経薬理学教室 問合 〒 371-8511 前橋市昭和町 3-39-22 せ先 tel: 027-220-8052 fax: 027-220-8054 email: tisono@gunma-u.ac.jp